

# 旭川市博物科学館報

Vol. 6

平成25(2013)年

# 目 次

運営組織及び職員数	1
<b>I 旭川市科学館の概要</b>	
1 旭川市科学館「サイパル」の考え方	2
2 旭川市科学館「サイパル」の概要	2
3 旭川市科学館の沿革	2
4 施設の概要	3～4
<b>II 旭川市博物館の概要</b>	
1 建設の目的と性格	5
2 展示基本理念	5
3 旭川市博物館の沿革	5
4 施設の概要	5～6
<b>III 平成24年度事業活動報告（旭川市科学館）</b>	
1 利用状況	7
2 常設展示事業	8
3 特別展示事業	9～10
4 実験実習事業	10～16
5 天文普及事業	16～20
6 学校連携事業	20～21
7 共催事業	22
8 その他科学館で開催された主な催事など	22
9 情報提供活動	23
10 広報活動	23
<b>IV 平成24年度事業活動報告（旭川市博物館）</b>	
1 利用状況	24
2 常設展示事業	25
3 企画展示・特別展示事業	25
4 教育普及活動事業	26～29
5 刊行物一覧	30
6 博物館実習	30
7 収蔵資料関係	31
8 資料調査・撮影・掲載等	31
9 貸出資料	31～32
10 博物館ボランティア	32
<b>V サイエンスボランティア旭川の活動</b>	
1 概 要	33
2 平成24年度従事者数	33
3 活動の内容	33～35
<b>VI 旭川市科学館・旭川市博物館利用案内</b>	
1 観覧料	36
2 旭川市科学館	37～38
3 旭川市博物館	38～39

## 運営組織及び職員数（平成25年4月1日現在）

館長	博物科学館協議会	(任期：平成24年9月1日～平成26年8月31日)
(1名)	(20名)	
主幹	博物館施設管理・事業統括・考古学担当	
(1名)		
副館長	科学館施設設備管理担当	
(1名)		
主査	電子工作，地学（地質），プラネタリウム・生物，近現代史，科学館常設展示・運営管理担当	
(5名)		
主任	プラネタリウム，近現代史，民族学，天文，電子工作，理科実験，庶務担当	
(7名)		
係員	理科実験，地学・庶務担当	
(2名)		
嘱託職員	考古学・民族学，レファレンスルーム運営管理，理科実験指導，パソコン教室，木工模型工作指導，天文観測指導，プラネタリウム解説，団体受付	
(13名)		
臨時職員	事務補助・団体観覧受付	
(3名)		

博物科学館職員 計33名  
 (博物館常駐職員 8名，科学館常駐職員 25名)

# I 旭川市科学館の概要

## 1 旭川市科学館「サイパル」の考え方

旭川市科学館「サイパル」は、子ども達をはじめ多様な方々に、様々な科学に関する情報を伝え、関心を高め、科学への理解を深めることを目的としています。

これまで、旭川市青少年科学館では物理・化学・天文などの分野を主な事業活動の対象としてきましたが、環境問題など新たな課題に対応するため、個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取り組みが求められている今日、学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要です。

このため、旭川市科学館では、物理学，化学，生物学，地学など、あらゆる自然科学分野を対象として、多彩な活動を進めていきます。

## 2 旭川市科学館「サイパル」の概要

サイパルの位置する宮前通東「北彩都あさひかわ」シビックコア地区には、科学館に隣接して旭川市障害者福祉センター「おびった」、国の合同庁舎が建っています。

敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間も設けられています。神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で、自然科学を学ぶことができるのも大きな特徴です。

また、多くの方々にご利用いただく常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階にそれぞれ配置し、子どもから高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れました。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し、人と環境に優しい科学館に生まれ変わりました。科学の不思議さを表現したシンボル展示、「国際家具デザインフェア旭川」コンペティション入選作品など美しい地場木製家具を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しました。

## 3 旭川市科学館の沿革

昭和38年11月3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年1月30日	新築移転のため閉館
平成17年7月23日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に開館
平成17年8月13日	入館者10万人を達成
平成18年5月4日	入館者50万人を達成
平成19年8月10日	入館者100万人を達成
平成23年3月13日	入館者200万人を達成

## 4 施設の概要

### (1) 旭川市科学館

- ・所在地 旭川市宮前通東「北彩都あさひかわ」シビックコア地区
- ・敷地面積 27,099.65㎡
- ・延床面積 5,799.60㎡（車庫棟・雪室棟を除く）
  - 〔内訳〕 ○常設・特別展示室，サイエンスシアター 約1,780㎡
  - プラネタリウム 約 375㎡
  - 天文台 約 90㎡
  - 実験実習室ほか 約 655㎡
  - 共用・管理運営関係 約2,900㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費，一部外構工事等除く）

### (2) 各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約1,600㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約180㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習室・研修室	約150㎡，126席，視聴覚機器付設
	エントランスホール	観覧受付，シンボル展示，休憩コーナー等
	情報コーナー	バーチャル科学館案内，科学クイズ，サイエンスライブラリー等の機能
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習，各種資料による自主研究に開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
3階	機械室など	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2基），観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台，大型バス6台，身障者用駐車場5台，自転車100台
	エントランス広場，円形広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約5,000㎡，在来種の雑木林，トンボ池，野外展示2基など自然観察スペースに活用

### (3) 常設展示室詳細

#### Ⅲ 平成24年度事業活動報告 2 常設展示事業を参照

### (4) 天文台詳細

- ・位置：北緯43度45分23秒 東経142度22分13秒 標高143m
- ・面積：173㎡（うち大天文台50㎡，小天文台19㎡，観測デッキ82㎡）
- ・大天文台：ドーム直径8m，口径65cm カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属

望遠鏡2基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム

- ・小天文台：ドーム直径5m，口径20cm 屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡2基設置，太陽投影板・太陽用H $\alpha$ フィルター・太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・観測デッキ：口径10cmの移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

#### (5)プラネタリウム詳細

- ・面積：670 $\text{m}^2$ （客室232 $\text{m}^2$ ，プロジェクションギャラリー112 $\text{m}^2$ ，ロビー228 $\text{m}^2$ ，その他98 $\text{m}^2$ ）
- ・ドーム：直径18m，水平型・平面床，170席（うち2人掛け椅子5脚，通常時同心円配列・映像投影時一部回転式）
- ・投影機：カール・ツァイス社製スターマスターZMP（コンピュータ制御，光源・光ファイバー式），スカイキャン社製全天周ドーム映像装置など付設
- ・特徴：生解説によるマニュアル投影，わが国初のデジタル操作式カール・ツァイス社製投影機の導入，全国で初めて回転可動式座席を導入。



天文台



大型望遠鏡



プラネタリウム



・各室の内訳

室名	面積(m <sup>2</sup> )	利用内容
常設展示室 (1階) (地下階)	1,548.8 (666.5) (882.3)	旭川を中心とした歴史・文化及び自然に関して自然部門と人文部門で常設展示を展開。平成20年11月に1階部分をアイヌ文化の紹介を中心にした展示にリニューアル。
特別展示室	332.8	常設展示を補完するため、また市民のニーズに対応して、そのつど特定のテーマの企画展示を展開。
学芸室1(自然系)	91.4	分析試料の作製、資料分類整理、資料登録等を行う。
学芸室2(人文系)	139.5	各種資料の分類整理・登録、修理、分析、製作を行う。
第1収蔵庫	433.0	木製品、金属製品等の近現代資料を保管。
第2収蔵庫	249.6	土器、石器、岩石・鉱物、剥製、昆虫、植物標本を保管。
第3収蔵庫	156.0	美術品、漆製品、皮革、繊維製品を保管。
荷解室	107.0	資料搬入と荷解きを行う。
くん 燻 <small>じょう</small> 蒸 <small>し</small> 室	28.0	搬入された資料の永久保存を図るため、燻蒸によって殺菌・殺虫を行う。
洗 浄 室	56.0	搬入された資料を洗浄するための水洗場を備える。
文 献 資 料 室	78.0	博物館活動に必要な図書文献を収納し、市民の希望のあるときは閲覧に提供。
郷 土 学 習 室	127.5	講演、講座を開催するほか、ガス・水道を整備して子ども体験学習を実施。
ゆ き ん ぼ コ ー ナ ー	84.0	昭和30年代当時の道具や遊びを通して、暮らしを学ぶことができる。
そ の 他	637.9	慣らし室、廊下、階段、印刷室、更衣室、準備室等。
計	4,069.5	

(2) 附属施設

茶室「晴雪」 ・ 構造 木造平屋建 ・ 面積 22.87m<sup>2</sup>

この茶室は、昭和25(1950)年に本市で開かれた「北海道開発大博覧会」の折、当時5条通11丁目にあった市立図書館の附属茶室として岡田英斎氏の手により建設され、その後常磐公園内に移され、昭和43(1968)年に当館附属茶室になった。博物館の移転に伴い大雪クリスタルホール敷地内に移設された。

(3) アイヌ文化の森「伝承のコタン」<分館>

- ・所在地 上川郡鷹栖町字近文9線西4号(嵐山公園センター内)
- ・沿革 昭和44(1969)年 アイヌ文化の保存と伝承を目的とし造成に着手  
昭和47(1972)年9月10日 旭川市立旭川郷土博物館分館として開園  
平成18(2006)年4月1日 嵐山公園センター内に移転

<施設の概要>

- ・展示室及び案内事務室等(嵐山公園センター、木造平屋建 476.5m<sup>2</sup>)  
展示は旭川のアイヌの人々の植物利用を紹介
- ・ポロチセ1棟(木造、ササ葺き・ササ壁 84.24m<sup>2</sup>)
- ・ポンチセ2棟(木造、ササ葺き・ササ壁 31.23m<sup>2</sup>, 34.03m<sup>2</sup>)
- ・その他の施設 プー(チセの附属施設で「食糧庫」を意味する)  
ヌササン(「祭壇」の意味でイナウ(木幣)を立てるところ)

### Ⅲ 平成24年度事業活動報告（旭川市科学館）

#### 1 利用状況

内訳 月	常設 展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等参加者		その他	合計	平成23年度
					(うち特別展分)			
4	9,558	4,710	1,617	3,164	————	41	19,090	20,256
5	12,829	6,047	1,695	7,711	————	81	28,363	35,073
6	8,482	4,419	1,048	3,252	————	136	17,337	21,740
7	13,117	7,090	1,451	5,994	(3,481)	44	27,696	35,357
8	24,363	12,319	3,270	11,805	(9,910)	41	51,798	58,918
9	12,434	6,821	1,521	5,669	(4,619)	21	26,466	26,342
10	7,871	4,612	1,080	3,049	————	914	17,526	19,889
11	7,263	4,010	541	4,781	————	184	16,779	18,527
12	3,600	2,194	263	1,398	————	120	7,575	7,661
1	5,785	2,886	421	9,593	————	1,092	19,777	25,692
2	3,646	2,030	382	1,959	————	618	8,635	8,665
3	6,992	3,792	670	1,914	————	145	13,513	13,935
合計	115,940	60,930	13,959	60,289	(18,010)	3,437	254,555	292,055

※平成24年度の1日平均入館者数：793.0人／日（開館日：321日）

最近10年間の科学館入館者数一覧（平成14年度～平成23年度：延人数）

※平成16年度までは旭川市青少年科学館での実績

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備 考
H14	49,879	18,523	1,891	45,963	116,256	平成16年度まで観覧料無料
H15	51,841	17,958	2,317	31,179	103,295	
H16	36,180	16,485	1,433	19,193	73,291	1月30日で旧館閉館
H17	220,713	107,732	70,108	40,925	439,478	7月23日より新館開館
H18	192,260	104,459	43,808	101,728	442,255	
H19	136,193	74,488	26,960	43,523	281,164	
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	60,276	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,896	299,040	6月～9月原則無休開館
H23	131,268	66,611	15,576	78,600	292,055	

※特別展入場者数は各種事業他に含まれるが、H17に限り常設展示室に含まれる。



旭川市科学館外観



常設展示室

## 2 常設展示事業

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型、キッズコーナー、科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー	展 示 名	
北国	北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室 全9点	
地球	身体ズームイン／内臓パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風を起こそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシーン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影であそぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディーアタック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう／人類の進化／こども環境新聞／燃料電池／温暖化から地球を救え／大陸移動 全31点及びキッズコーナー	
宇宙	ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース1 全6点	
サイエンスシアター	3D	北国 雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球 巨大台風／オーロラ その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙 宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界 ブラックホール
	2D	北国 石狩川夢の旅人
		地球 謎の深海底
		宇宙 テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数(平成24年4月～平成25年3月)単位：人

月/区分	個 人					団 体 (団体料金適用者)					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	4,162	33	4,758	238	9,191	50	96	28	193	367	9,558
5	5,351	69	5,190	356	10,966	106	77	1,367	313	1,863	12,829
6	2,453	29	2,537	218	5,237	75	82	2,362	726	3,245	8,482
7	4,304	81	5,042	403	9,830	31	0	2,529	727	3,287	13,117
8	10,183	183	10,546	839	21,751	103	48	1,763	698	2,612	24,363
9	4,412	47	4,294	391	9,144	169	278	2,064	779	3,290	12,434
10	2,771	42	3,083	230	6,126	202	17	1,034	492	1,745	7,871
11	3,149	30	2,813	233	6,225	0	0	744	294	1,038	7,263
12	1,421	21	1,301	108	2,851	0	29	598	122	749	3,600
1	2,313	27	2,538	332	5,210	22	40	373	140	575	5,785
2	1,663	16	1,367	173	3,219	0	58	218	151	427	3,646
3	3,064	66	3,199	312	6,641	2	0	173	176	351	6,992
年度合計	45,246	644	46,668	3,833	96,391	760	725	13,253	4,811	19,549	115,940

※「その他」は観覧免除者(身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等)

### 3 特別展示事業

#### (1) 特別展「絶滅ほ乳類の世界」

##### ア 展示

実施期間	平成24年7月14日～9月17日（開催期間66日間）
観覧者数	18,010人
内 容	恐竜絶滅後に大きく勢力を伸ばした哺乳類について，最新の研究から解明された哺乳類の進化と絶滅の歩みを科学的に紹介した。スミロドンをはじめとする全身骨格標本の他，体験型展示を通じ絶滅哺乳類と現生哺乳類との関係性や地球環境との関わりを学ぶ展示などを設置した。また，期間中には土日祝日に開催したワークショップや工作教室などの関連事業も実施した。

##### イ 関連事業

###### ・セレモニー

内 容	会場	参加者数	開催日
オープニングセレモニー	特別展示室前	23人	7月14日
入場者1万人達成セレモニー	特別展示室前	未集計	8月17日

###### ・ホニュウ類アニマルワークショップ

内 容	対 象	参加者数	開催日
ホニュウ類消しゴムづくり	どなたでも	447人	7月14日， 8月11日，12日
ホニュウ類シルエットキーホルダー		383人	7月15日，22日， 9月17日
ホニュウ類オリジナル石けんづくり		398人	7月16日，29日， 9月2日
ホニュウ類化石レプリカづくり		146人	7月21日，9月 15日
絶滅ほ乳類のおきあがりこぼし		125人	7月28日
ホニュウ類の飛び出す!?箱づくり		267人	8月4日，9月 1日，9日
絶滅ほ乳類変わり絵		507人	8月5日，9月 8日，16日
絶滅ほ乳類オリジナル下敷き		280人	8月18日，19日 26日
サーベルタイガーのフィギュアづくり		68人	8月25日

###### ・絶滅ほ乳類工作教室

内 容	対 象	参加者数	開催日
メカ・マンモスロボット教室	小中学生	19人	7月28日，31日
絶滅ほ乳類の切り抜き工作	小中学生	13人	8月2日，5日

(2) ミニ企画展「外来生物2012」展

ア 展示

実施期間	平成24年11月10日～12月9日
参加者数	5,856人（常設展示室観覧者数を含む）
内 容	旭山動物園で開催された外来生物展のパネルを中心に，旭川周辺で見られる外来生物をアズマヒキガエルなどの生体標本を交えて紹介し，その現状と問題について展示した。協力：旭山動物園



絶滅ほ乳類の世界



絶滅ほ乳類の世界

4 実験実習事業

(1) 体験教室・講座

ア 科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
前 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	88人	5月～9月 (5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4～ 5年生	20人	171人	5月～8月 又は9月 (各10回)
	理科(日)			20人	163人	
	科学工作(木)	LED調光あんどんの製作		16人	108人	
	科学工作(土)	LED調光あんどんの製作		16人	147人	
	パソコン	パソコンの使い方，利用方法		16人	134人	
実験工作	理科実験と木工・電子工作	小学6年～ 中学生	20人	155人		
後 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	86人	11月～翌3 月(5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4～ 5年生	20人	76人	11月～翌2 月又は3月 (各10回)
	理科(日)			20人	105人	
	科学工作(木)	時計付きラジオの製作		16人	137人	
	科学工作(土)	時計付きラジオの製作		16人	142人	
	パソコン	パソコンの使い方，利用方法		16人	137人	
実験工作	理科実験と木工・電子工作	小学6年～ 中学生	20人	96人		
生き物・地球	生き物や岩石の観察など	小学5年～ 中学生	16人	117人	5月～翌2 月(15回)	

イ 親と子の実験室（前・後期）

	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験 (全6回)	小学2～3年生の 親子	40組	424人	5月～9月
後			40組	438人	11月～翌2月

ウ 旭川少年少女発明クラブ

	内 容	対 象	登録数	延人数	開催日
	アイデア工作，基礎工作，科学の夢絵画の制作など	小学3年～中学生	20人	231人	6月～翌3月（18回）



科学館クラブ  
(パソコン)



サイエンスセミナー  
馬場悠男顧問講演会

エ サイエンスセミナー

回	内 容	参加者数	開催日
1	「十勝岳噴火」 講師：岡田 弘名誉館長(北海道大学名誉教授)	15人	9月22日
2	「人類の進化～私たちは数万年前にネアンデルタール人と混血した～」 講師：馬場 悠男顧問(国立科学博物館名誉研究員)	33人	11月11日
3	「生物の誕生～研究の最前線(新しい命の誕生-配偶子形成と受精)～」 講師：森澤 正昭顧問(東京大学名誉教授)	15人	12月2日
4	「北大ピリカ望遠鏡と飛翔体で探る惑星と地球の大気」 講師：高橋 幸弘氏(北海道大学教授)	47人	2月16日
5	「明るくなるか-2013年の二大彗星-」 講師：渡部 潤一顧問(国立天文台副台長)	56人	3月3日

オ こども科学博士

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	水と油の博士	小学1～2年生の 親子	20組	12人	7月28日
2	目指せ！スライムマスターへの道		20組	10人	10月28日
3	冬のポカポカ実験		20組	16人	1月14日
4	ひよこ豆腐と梅酢豆腐をつくらう		10組	8人	3月9日

カ 理科実験マスター教室

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	ものの溶け方と再結晶	小学6年～中学生	20人	6人	8月3日
2	酸とアルカリ		20人	2人	1月9日

キ パソコン基礎講座

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	楽しくパソコン～パソコンの使	高齢者	10人	96人	6月～8月
2	い方を習得し、生活に利用しよ		10人	93人	9月～11月
3	う。(全10回)		10人	87人	1月～3月
4	特別講座「Word編」		10人	28人	11月14日 ～16日
5	特別講座「Excel編」		10人	24人	3月21日 ～23日

(2)ものづくり教室

ア 市民木工教室

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	木製パズルの製作	大人	20人	57人	6月7日 ～9日
2	三段の引き出し箱の製作		20人	36人	9月8日 ～9日
3	木でMyスプーンを作ろう (各日午前, 午後開催)		12人	49人	11月8日 ～10日
4	鍵付き宝箱の製作		16人	32人	3月2日 ～3日

イ 親子で作る木の工作室

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	時計とモビールの製作	小学生の親子	10組	20人	8月11日
2			10組	20人	8月12日
3	千支のパズルの製作		12組	34人	12月22日
4	(午前, 午後開催)		12組	30人	12月23日

ウ デジタル工房

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	レインボーライトの製作	小学4年～中学生	10人	6人	7月27日
2	スクローラーの製作		10人	9人	8月8日
3	光センサー・プログラミングカ ーの製作		10人	7人	12月27日
4	アラーム付き時計の製作		10人	10人	1月10日

エ 夏休み・冬休み自由工房

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	とんとん教室(2回実施)	小学4年～中学生	10人	17人	7月29日
2	かんたん電子工作		10人	10人	8月6日
3	パソコンを活用しよう		10人	8人	8月10日
4	かんたん電子工作		10人	10人	12月24日
5	とんとん教室(2回実施)		10人	18人	1月6日
6	パソコンを活用しよう		12人	12人	1月9日

オ 大人のための電子工作

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	ドーム型LED電気スタンドの製作	大人	10人	10人	5月13日
2	木製ケース入りAM/FM2バンドラジオの製作		10人	8人	7月22日
3	光るガラス玉の製作(夜間)		10人	10人	8月11日
4	オルゴール付き電動リスの製作		10人	5人	9月15日
5	木彫・調光式LEDスタンドの製作		10人	8人	11月23日
6	ソーラー・デジタル時計付きFMラジオの製作(夜間)		10人	9人	12月8日
7	LEDフラッシュ・キーホルダーの製作(夜間)		10人	5人	2月8日

カ キッズ電子工作

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	光るオルゴールごまの製作	小学4年～中学生	10人	8人	5月6日
2	ペットボトルソーラーカーの製作		10人	9人	7月16日
3	電子サイコロの製作		10人	10人	8月4日
4	光センサー・カーの製作		10人	7人	8月14日
5	2バンドラジオの製作		10人	10人	12月16日
6	ソーラー時計の製作		10人	9人	12月26日
7	LED懐中電灯の製作		10人	10人	1月14日

キ 春・夏・冬休みプチ実験工作室

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	紙コップスピーカーを作ろう	小・中学生 (小3以下は保護者同伴)	20人	19人	7月26日
	ポンポン蒸気船を作ろう		20人	19人	
2	レーウェンフックの顕微鏡を作ろう		20人	20人	1月10日
	雪の結晶万華鏡を作ろう		20人	20人	
3	カレー粉試験紙を作ろう		40人	5人	3月26日
4	ビー玉キーホルダーを作ろう		40人	40人	3月27日
5	ECOラミネートしおりを作ろう	40人	9人	3月28日	
6	無限の箱を作ろう	40人	27人	3月29日	

ク 絶滅ほ乳類工作教室

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	メカマンモスの製作	小学4年～中学生	10人	10人	7月28日
2			10人	9人	7月31日
3	10人		8人	8月2日	
4	10人		5人	8月5日	

(3) 野外活動

ア 自然観察会

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	大人のための自然観察会	大人	20人	6人	5月27日
2			20人	17人	2月17日
1	子連れお散歩自然観察会	未就学児と保護者	20人	20人	6月7日
2			20人	14人	9月13日

イ 自然体験学習

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	昆虫標本をつくろう	小学4年～中学生	20人	14人	8月4日～5日
2	ファミリー観察会	小学生と保護者	20人	3人	8月11日



大人のための自然観察会



子連れお散歩自然観察会

(4) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に、当日の来館者を対象としたサイエンスショーを開催。

内 容	対 象	参加者数	開催日
音の実験など13テーマ（全51回）	どなたでも	4,780人	毎週土曜日

イ 科学探検ひろば2013（サイエンスボランティア旭川主催）

内 容	対 象	参加者数	開催日
理科教員や科学クラブの学生、ボランティアなどが中心となって開催する屋台形式の科学イベント。	どなたでも	8,258人	1月12日～13日

ウ 春・秋の科学館まつり

	内 容	対 象	参加者数	開催日
春	科学館クラブの参加者募集と科学館事業の紹介を目的に開催。	どなたでも	1,904人	4月29日
秋			1,487人	11月3日

エ サイエンスキャンプ

内 容	対 象	参加者数	開催日
科学館で1泊しながら実験実習や自然観察などを行う。	小学5年～中学生	11人	8月25日～26日

オ サイエンススタジオ

内 容	対 象	参加者数	開催日
GWサイエンススタジオ 「空気砲ランド」	どなたでも	5,670人	5月3日～6日
ナイトサイエンス 「夜の実験タイム，星と夜景のひろば，プチ自然観察会，プラネタリウムヒーリング番組」		384人	8月11日～15日
秋のサイエンススタジオ 「サイパル飛ぶ教室」		604人	9月22日，23日
冬のサイエンススタジオ 「サイパル音の教室」		1,114人	11月23日～25日
コロックルのクリスマス		66人	12月22日，23日
雪と氷のサイエンススタジオ		782人	2月9日～11日
春のサイエンススタジオ		349人	3月20日

カ 大人のためのホームサイエンス

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	こうじのふしぎ	大人	13人	9月4日
2	染め物をしてみませんか		13人	9月25日
3	染め物をしてみませんか		10人	10月2日
4	落ち葉のふしぎ		5人	11月10日
5	箸置き作りをしてみませんか		11人	11月27日
6	あみほおずきをつくってみませんか		16人	1月25日

(5) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内 容	参加者数	開催日
科学の夢の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生202人，中学生64人）	266人	8月21日 ～9月21日 （募集期間）
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト。（上川旭川創意工夫教育研究会，旭川発明協会との共催）	87人	9月24日 ～9月27日 （募集期間）
合同展示会・表彰式（表彰式は8日のみ）	1,550人	10月4日～8日

イ 宇宙の日作文絵画コンテスト

内 容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生14人，中学生0人），絵画（小学生66人，中学生20人）	100人	4月30日～ 7月31日

## ウ 科学技術週間行事

内 容	対 象	定員   延人数	開催日
発明工作教室『歩く象の工作』	小学4年生以上	20人   8人	4月21日
内 容	対 象	参加者数	開催日
科学技術映像祭入選作品上映会 「NHK スペシャル シリーズ原発」	どなたでも	自由観覧のため、 人数は集計せず。	5月3日、 4日
科学技術映像祭入選作品上映会 仙石先生の「いのちはみんなつながっている」			5月5日、 6日



秋の科学館まつり



サイパル理科研修会

## 5 天文普及事業

### (1) 天文台事業

#### ア 天文台公開

期 間 等	平成24年4月～平成25年3月 (321日間開放)
参加者数	1 利用状況の天文台を参照
内 容	一般来館者に天文台を開放し、ドーム直径8メートルの大天文台では、口径65cmのカセグレン式反射望遠鏡で主に星の観測、ドーム直径5メートルの小天文台では、口径20cmの屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施時間	午前9時30分～午後5時(晴天時は開館時間内常時開放) ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

#### イ 天体を見る会

期 間 等	平成24年4月～平成25年3月 (計19回実施)
参加者数	計1,487人
内 容	月、土星等の惑星その他の天体の様子を、実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに、天文への理解を図る。
実施時間	5月～9月：19:30～20:30、10月～4月：17:30～20:00 (※時間限定の天文現象など、テーマによって時間が異なる場合有り)

#### ウ 星の教室

内 容	対 象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて、わかりやすく解説する(全6回)	どなたでも	140人	奇数月の主に 最終日曜日

エ 親子天文博士

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	望遠鏡の使い方と夜間天体観測	小中学生と保護者	34人	6月30日
2			25人	9月22日

オ 夏・冬休み天文教室

	内 容	対 象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡作りとプラネタリウム学習	小学4年～中学生	19人	8月2日
冬			5人	12月27日

カ 天体観測

内 容	回数	期 間
太陽黒点の観測	169回	4月～3月
部分日食の観測	1回	5月21日
金星の太陽面通過の観測	1回	6月6日

(2)プラネタリウム事業

天文知識の啓蒙・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影等を展開している。

◎プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）

単位：人

月/区分	個 人					団 体					人数 合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	2,133	24	2,146	163	4,466	30	96	19	99	244	4,710
5	2,690	30	2,215	213	5,148	0	77	586	236	899	6,047
6	1,298	17	1,065	115	2,495	0	82	1,379	463	1,924	4,419
7	2,469	83	2,344	246	5,142	20	0	1,496	432	1,948	7,090
8	5,032	119	4,871	492	10,514	72	0	1,269	464	1,805	12,319
9	2,329	46	1,909	266	4,550	123	278	1,447	423	2,271	6,821
10	1,640	50	1,390	146	3,226	73	17	854	442	1,386	4,612
11	1,796	16	1,288	143	3,243	0	0	594	173	767	4,010
12	920	32	601	83	1,636	10	0	476	72	558	2,194
1	1,252	28	967	197	2,444	22	40	254	126	442	2,886
2	1,018	19	579	117	1,733	0	58	139	100	297	2,030
3	1,770	35	1,545	224	3,574	0	0	81	137	218	3,792
年度計	24,347	499	20,920	2,405	48,171	350	648	8,594	3,167	12,759	60,930

※「その他」は観覧免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

◎プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	10	26	57	76	57	56	44	23	15	16	15	13	408

## ア 一般投影

日の入りから夜8時の空、日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
夜空の動物園	(3月)～4月	動物星座	81回
星のかくれんぼ	5月～6月	日食, 月食, 星食, 金星の大要面通過	179回
天の川と七夕伝説	7月～8月	七夕, 天の川	174回
月の世界	9月～10月	中秋の名月, 月について	154回
聖夜の星	11月～12月	クリスマス, エチオピア王家の神話, 流星群	118回
真冬の宝石箱	1月～2月	超新星爆発・星間物質, 冬の一等星を持つ星座, 神話	117回
こよみと12星座	3月～(4月)	黄道12星座, 春分, 秋分, カレンダー	69回
番組数	7番組	投影回数合計	892回

※( )内の月は別年度のため、投影回数には含まない

(一般番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	3	2,092人	81回
5	14	2,967人	88回
6	24	1,850人	91回
7	21	2,406人	83回
8	24	5,097人	91回
9	18	2,612人	78回
10	14	1,912人	76回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	7	1,849人	59回
12	3	846人	59回
1	4	1,479人	60回
2	5	1,039人	57回
3	4	1,741人	69回
合計	141	25,890人	892回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む

## イ 特別投影

○学習番組投影 実施期間：通年

時間や天候など、制約が多い実天観測の代わりに、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天体に対する理解を促す。

(投影番組)

対象	番組内容	所要時間	投影回数
小学3年生	かげと太陽(太陽の1日の動きと影の出来方)	30分	5回
小学4年生	月と季節の星座(月の形と動き, 星の数)	40分	25回
小学6年生	月と太陽(月の満ち欠け)	40分	6回
中学生	地球の動きと星の動き(自転・公転と天体の見かけの動き)	40～50分	6回
	太陽系と宇宙の構造(太陽系の惑星, 銀河系など)	40～50分	2回

## (学習番組利用状況)

単位：人

区分 月	観覧者数（人）						団体数					
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	57	0	74	0	131	0	1	0	2	0	3
6	30	97	0	136	0	263	1	3	0	2	0	6
7	23	65	22	0	9	119	1	5	1	0	1	8
8	0	79	0	0	0	79	0	2	0	0	0	2
9	38	682	261	21	0	1,002	2	14	4	1	0	21
10	0	238	0	55	0	293	0	3	0	1	0	4
11	43	0	0	0	0	43	2	0	0	0	0	2
12	0	122	0	0	0	122	0	1	0	0	0	1
1	0	0	0	0	42	42	0	0	0	0	1	1
2	0	0	35	0	0	35	0	0	1	0	0	1
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	134	1,340	318	286	51	2,129	6	29	6	6	2	49

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む

## ○幼児番組投影 実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を独自に製作・投影している。

## (投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4月1日～5月6日	冬から春の星座紹介、おおいぬ座、こいぬ座のお話
アポロンとからす	5月8日～6月30日	春の星座紹介、からす座の物語
たなばたさま	7月1日～8月7日	夏の星座紹介、七夕伝説
月をつかまえた子ども	8月8日～10月30日	秋の星座紹介、月の形、月の物語
クリスマスの空	11月1日～12月24日	冬の星座紹介、クリスマスのお話
ふゆのせいざ	12月26日～2月27日	冬の星座紹介、エリダヌス座の物語
わんわんわん	3月1日～3月31日	冬から春の星座紹介、おおいぬ座、こいぬ座のお話

## (幼児番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	2	1,504人	21回
5	4	1,732人	20回
6	14	1,148人	26回
7	32	3,076人	39回
8	28	5,886人	71回
9	6	1,898人	28回
10	14	1,435人	25回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	7	1,065人	22回
12	8	536人	22回
1	7	687人	21回
2	6	453人	22回
3	3	733人	25回
合計	131	20,153人	342回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

## ○特別番組投影

日頃、天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう、天文以外の分野を取り入れた投影

(投影番組)

番組タイトル	内 容	観覧者数	投影日
夏の星空コンサート	元「LOOK」のボーカル鈴木トオルさんのライブと星空を楽しむコンサート	154人	7月7日
秋の星空CDコンサート	ハロウィンをテーマに秋の星空と音楽を楽しむコンサート	158人	10月6日
クリスマスCDコンサート	冬の星座とクリスマスの音楽を楽しむCDコンサート	148人	12月15日
春の星空CDコンサート	アラビア風の映画音楽と共に季節の星座を楽しむCDコンサート	84人	3月9日

○ドームシアター 実施期間：通年

全天周映像装置を利用し、NASA監修・アメリカ自然史博物館製作のデジタル映像番組「宇宙大衝突 (COSMIC COLLISIONS)」の上映を行う。

(番組利用状況)

投影回数：310回

番組タイトル	内 容	観覧者数	団体数
宇宙大衝突 (COSMIC COLLISIONS)	全天周デジタル映像、オート番組 宇宙で起きている星々の大衝突の謎に迫る	11,402人	65



部分日食の観測



金星の太陽面通過の観測

## 6 学校連携事業

### (1) 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや実験工作・電子工作・木工作や低温実験体験などのメニューを実施

期 間	通年（団体からの依頼があった都度で開催）
利用団体数	56団体（利用者数：1,966人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「夜光スライムを作ろう」、「光スタンプを作ろう」など 電子工作・・・「ペットボトルイルミネーションの製作」 木工作・・・「糸のこ体験」 その他・・・低温実験室体験、「無限の箱を作ろう」など

### (2) 巡回実験教室事業

#### ア 巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員等が出向き、実験ショーや簡単な工作教

室などを行う。

期 間	通年
利用団体数	9団体（利用者数：528人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「忍者スライムを作ろう」など

イ プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

（参加者数は全てプラネタリウム観覧者数に含む）

利用学校名	参加者数	開催日
旭川市立緑新小学校 4 学年	65人	7 月 3 日
旭川市立緑新小学校 4 学年	61人	7 月 24 日
旭川市立緑新小学校 4 学年	31人	10 月 2 日
旭川市立緑新小学校 4 学年	34人	10 月 3 日
旭川市立緑新小学校 4 学年	36人	10 月 19 日
旭川市立緑新小学校 4 学年（全国理科学研究大会）	69人	10 月 26 日
旭川市立東光小学校 6 学年	121人	11 月 2 日
旭川市立神楽中学校 3 学年	113人	12 月 20 日

ウ 総合学習関連事業

小学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
旭川市立広陵中学校	総合的な学習の時間に講師を派遣	22人	1 月 23 日

(3) 人材育成事業

ア 博物館実習の受け入れ

IV 平成24年度事業活動報告(旭川市博物館) 6 博物館実習を参照

イ 初任者研修「地域研修」の受け入れ

内 容	対 象	参加者数	開催日
科学体験活動として施設見学及び実験実習	市内小中学校教員	13人	1 月 24 日

ウ サイパル理科研修会

回	内 容	対 象	延人数	開催日
1	天文研修会，ソーラーバルーン作り	教員	10人	8 月 1 日
2	岡田名誉館長と行く十勝岳防災教育バスツアー		8 人	9 月 23 日
3	もののあたたまりかた，水溶液の性質		7 人	10 月 13 日
4	ものの温度と体積，電流が生み出す力		7 人	12 月 2 日
5	ものの溶け方，雪国・旭川らしい雪と氷の実験		5 人	1 月 11 日
6	ものの燃え方，学級開きで科学		4 人	2 月 24 日

## 7 共催事業

(1)みどりの回廊展(共催：あさひかわ自然共生ネットワーク)

内 容	参加者数	開催日
自然や環境に関する市民活動団体のパネル展示, 体験実習等	780人	6月23日, 24日

(2)お手伝いトレイづくりワークショップ(共催：NPO法人もりねっと北海道)

内 容	参加者数	開催日
親子での木工作体験	31人	10月19日, 21日

(3)親子ミニマイコンカー教室(共催：旭川工業高等学校)

内 容	参加者数	開催日
親子でミニマイコンカー製作と競技会	34人	10月20日, 21日

(4)お天気ひろば(共催：旭川地方気象台)

内 容	参加者数	開催日
気象や防災に関するさまざまな実験・展示等を開催	801人	11月3日

(5)NECガリレオクラブ(共催：日本電気株式会社)

内 容	参加者数	開催日
身近なものでロボットを作る	24人	1月8日

(5)JAL出前講座「そらいく」(共催：JAL旭川支店)

内 容	参加者数	開催日
日本航空の現役機長による, 上空1万メートルから見た地球の姿などの講演会	27人	1月11日

(6)たのしい電子工作教室(共催：旭川工業高等学校定時制)

内 容	参加者数	開催日
イライラ棒を作ろう	20人	1月11日

(7)科学探検広場2013(共催：サイエンスボランティア旭川)

内 容	参加者数	開催日
サイエンスボランティア旭川を中心に地域の学校教諭や学生が科学屋台の出展など約50の催しを開催	8,258人	1月12日, 13日

## 8 その他科学館で開催された主な催事など

催事名	主催等	参加者数	開催日
くまげら会活動	女性木工サークル(27回実施)	261人	4月～3月
環境地図作品展	環境地図教育研究会	690人	10月27日, 28日
日専連版画コンクール	日専連旭川	1,009人	1月26日, 27日
健康日本21	旭川薬剤師会	302人	2月24日

## 9 情報提供活動

### (1) レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡（係員が立会で使用）、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD・CD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体他  
(備品・資料・家具類などはすべて（社）旭川自動車学園からの寄贈による)

### (2) 情報コーナーの運営

設置・使用目的：パソコンで様々な科学情報を検索・閲覧できるライブラリー機能のほか、科学館の施設・事業活動を紹介する

設備概要：パソコン端末5台、インターネット検索可能、液晶タッチパネルによる画面展開可能

### (3) ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに、市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容、募集情報、ミュージアムショップの紹介、研究成果、最新科学情報・動向、サイエンスFAQなど。

## 10 広報活動

科学館及び博物館の周知、事業内容のPRと利用の促進を図るため、次の広報活動を実施した。

(1) 旭川市広報誌「あさひばし」への事業案内、利用案内等の掲載。

(2) 新聞・テレビ等報道機関その他媒体への情報提供、取材依頼。

(3) 科学館及び博物館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布。

(4) 特別展や各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布。

(5) ホームページを通じて、科学館及び博物館の利用案内や事業情報等を発信。

(6) 科学館公式ガイドブック、科学館体験学習の手引きの作成。

(7) 「博物科学館報」、調査研究などの「研究報告」、旭川における1年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行、配布。

(8) 館内に科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

(9) 科学館及び博物館の1年間の主な行事予定等を掲載した「旭川市科学館・博物館カレンダー」の作成、配布。

## IV 平成24年度事業活動報告（旭川市博物館）

### 1 利用状況

平成24年度	一般	高校生	小中学生	幼児	合計	平成23年度
4月	1,157	6	233	50	1,446	1,220
5月	2,596	11	618	77	3,302	2,538
6月	2,047	2	577	20	2,646	2,879
7月	1,185	24	572	105	1,886	4,485
8月	2,252	29	597	100	2,978	8,644
9月	1,670	164	591	80	2,505	3,771
10月	1,495	2	944	26	2,467	3,561
11月	1,426	15	1,064	34	2,539	3,232
12月	495	270	237	21	1,023	915
1月	557	3	605	4	1,169	1,339
2月	1,450	2	1,278	29	2,759	1,725
3月	816	5	242	26	1,089	1,392
合計	17,146	533	7,558	572	25,809	35,701

※平成24年度の日平均入館者数：75.2人（開館日数：343日）

### 最近10年間の旭川市博物館入館者数一覧（平成14年度～平成23年度：延人数）

年 度	一般		高校生		小中学生（幼児）					幼 児	免 除	特別展	合 計	摘 要
	個人	団体	個人	団体	個人	市内小学	市外小学	市内中学	市外中学					
H14	21,748		87	141	4,058	4,721	1,110	51	292	1,517	—	—	33,725	※1
H15	22,352		196	83	4,565	3,595	911	170	268	2,119	—	—	34,259	※1
H16	19,887		174	40	4,261	3,321	728	68	464	1,550	—	—	30,493	※1
H17	20,828		139	99	5,613	3,568	544	89	468	1,479	—	—	32,827	※1
H18	4,781	698	75	100	3,939	3,363	386	60	468	774	4,489	—	19,133	
H19	4,354	890	65	50	3,944	3,487	487	109	737	1,071	5,550	—	20,744	
H20	4,342	163	56	0	1,893	2,256	74	10	0	440	4,698	—	13,932	※2
H21	7,394	1,047	108	102	3,269	4,124	687	190	266	703	7,101	4,601	29,592	
H22	7,387	763	96	100	3,126	4,453	1,209	259	279	764	8,024	16,881	43,341	
H23	6,389	542	66	536	2,717	4,314	1,080	305	867	1,013	10,139	7,733	35,701	

※1 無料期間 ※2 H20.11.1～ リニューアルオープン

## 2 常設展示事業

常設展示室は、1階と地階の2層構造になっています。平成20年11月にリニューアルされた1階展示室では、大陸や日本などと活発な交易をくりひろげ、複雑な社会を生み出してきたアイヌの歴史と多くの民族資料、さらに文化の伝承と創造に取り組む今日の上川アイヌの姿を御紹介します。また地階展示室では、上川盆地の2万年前から現在における人々の歩みを多くの資料によって振り返るとともに、私たちの命を育んできた上川盆地の地質や地形など自然のありさま、さらに私たちの仲間というべき多様な生き物たちを御紹介します。



## 3 企画展示・特別展示事業

博物館では、常設展示の他に収蔵品を創意工夫によって展示したり、また特定のテーマに基づいて調査研究した成果を発表する企画展示や特別展示を実施しております。

平成24年度は、合計3本の企画展と1本の巡回展が開催されました。

### 第65回企画展「時の流れに・私の旭川～松下実写真展」

展示期間	平成24年4月28日(土)～6月10日(日) 44日間
観覧者数	5,074人
展示内容	松下 実氏が長きに渡り撮影し続けてきた旭川の街かどの写真を通して、戦後の旭川の街と人びとのくらしの移り変わりを振り返った。

### 第66回企画展「昭和の名作さし絵展～梁川剛一の世界」

展示期間	平成24年7月21日(土)～9月9日(日) 51日間
観覧者数	4,583人
展示内容	昭和期の雑誌や絵本のさし絵を手がけた梁川 剛一氏のさし絵から垣間見る古き良き時代のノスタルジックな世界を紹介した。

### 第67回企画展「この街を歩く～足もとから振り返る旭川」

展示期間	平成24年11月3日(土)～平成25年1月14日(月) 73日間
観覧者数	3,961人
展示内容	当館収蔵の靴や下駄等の履物資料及び地図、写真パネル等を展示し、地域の近代化を道路網・鉄道網の発達を通して紹介した。

### 巡回展「樺太展」～知られざる北の国境～

展示期間	平成25年2月2日(土)～平成25年3月31日(日) 67日間
観覧者数	3,714人
展示内容	戦前の樺太資料を当館所蔵の実物資料の他、写真パネルや解説パネルで紹介した。また明治39年に北緯50度に設置された日露国境標石のレプリカも展示し、当時の人びとの様子や生活を振り返った。

#### 4 教育普及活動事業

常設展示を補完し、地域の自然・歴史等を理解するための博物館体験学習、自然観察会などの各種講座、講義・講演会を開催してきました。またリニューアル事業に伴い昭和30年代当時の道具や遊びを通して、暮らしを学ぶことができる「ゆきんぼコーナー」を設置しました。その他、来館者の学習相談、レファレンスサービス、資料の特別利用に応じてきました。

<b>講義・講演会</b>	(16回開催) 合計 528人参加
---------------	-------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
野鳥講演会	どなたでも	217人	4月14日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」①	中学生以上	16人	5月26日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」②	〃	13人	6月23日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」③	〃	16人	8月18日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」④	〃	13人	9月15日
講座「歴史・この人・旭川」①	大 人	16人	6月3日
講座「歴史・この人・旭川」②	〃	28人	6月10日
講演会「十勝岳噴火」～1962年噴火から50年～	中学生以上	中止	7月15日
講演会講演会「歴史ロマン—函館ミュージアム街道をあるく」	どなたでも	30人	7月28日
博物館講座「軍都と呼ばれる街にくらして」	大 人	11人	8月12日
フォーラム「帰ってきたサケが問いかけるもの」	どなたでも	45人	10月21日
ミュージアムカレッジ「あさひかわいろいろ講座編」①	〃	14人	12月15日
ミュージアムカレッジ「あさひかわいろいろ講座編」②	〃	15人	1月19日
ミュージアムカレッジ「あさひかわいろいろ講座編」③	〃	12人	2月16日
ミュージアムカレッジ「あさひかわいろいろ講座編」④	〃	10人	3月16日
フォーラム「極北を結ぶ先史文化」	〃	72人	2月17日

<b>企画展特別展関連企画</b>	(4回開催) 合計 69人参加
-------------------	-----------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
企画展関連講座 「昭和の旭川ガイド～戦後の街の変化について」	どなたでも	19人	5月26日
企画展関連行事「さし絵展展示解説」	〃	19人	9月9日
第67回企画展 特別解説	〃	25人	11月3日
企画展関連講座「この街のはじまり～足もとから振りかえる旭川」	〃	6人	1月14日

<b>自然観察会</b>	(博物館主催分 7回開催) 合計160人参加
--------------	------------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
探鳥会	どなたでも	18人	5月13日
大人のための自然観察会「江丹別の自然観察」	大 人	19人	6月3日
大人のための自然観察会「白金地区の自然観察」	〃	21人	6月10日
化石採集会	どなたでも	20人	6月24日
富良野活断層見学会	中学生以上	14人	7月14日
十勝岳学習会	大 人	中止	7月16日
サケ産卵場・遡上見学ツアー	どなたでも	68人	10月28日

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
<b>■春休み博物館体験</b>		<b>83人</b>	<b>4/1~4/8</b>
石うす体験	小3以上	36人	4月1日
まが玉作り	〃	27人	4月2日
アイヌ文様コースター	どなたでも	4人	4月7日
アイヌゴザ編み	小3以上	16人	4月8日
<b>■GWは博物館へ行こう</b>		<b>600人</b>	<b>4/28~5/6</b>
ミニこいのぼり作り	どなたでも	15人	4月28日
こいのぼりづくり	〃	9人	4月29日
かざぐるま作り	〃	9人	4月30日
豆腐作り体験	小学生と保護者	12人	4月30日
お手軽！化石のレプリカ工房	どなたでも	19人	5月3日
アイヌ文様コースター	〃	20人	5月3日
化石のレプリカづくり (タカハシホタテガイ)	〃	13人	5月4日
アイヌ文様しおり	〃	22人	5月4日
こどもの日は博物館へ行こう	〃	429人	5月5日
レプリカ色塗り工房	〃	41人	5月5日
アイヌゴザ編み	〃	11人	5月6日
<b>■外遊び博物館</b>		<b>76人</b>	<b>6/10~6/17</b>
ミニミニ鉄道博物館	どなたでも	28人	6月10日
牛乳パックブーメラン作り	〃	33人	6月16日
シャボン玉であそぼう	〃	15人	6月17日
<b>■プレ夏休み！ 博物館体験</b>		<b>14人</b>	<b>7/14~16</b>
ミニ土器作り	小3以上	9人	7月14日
アイヌ語カルタで遊ぼう	どなたでも	2人	7月15日
豆乳で豆腐づくり	子供と保護者	3人	7月16日
<b>■夏休み 博物館体験学習</b>		<b>385人</b>	<b>7/29~8/19</b>
昔のおやつ・作ってみよう・調べてみよう！	小・中学生	24人	7月29日
本格派！化石のレプリカづくり	〃	23人	7月31日
石を使って遊ぼう！石のペイント	小学生以上	22人	8月3日
扇子づくり	小3以上	25人	8月4日
ミュージアムカレッジキッズ版「旭川子ども文化塾」①	〃	2人	8月5日
ミュージアムカレッジキッズ版「旭川子ども文化塾」②	〃	4人	8月6日
押し花しおり	どなたでも	28人	8月6日
ミュージアムカレッジキッズ版「旭川子ども文化塾」③	小3以上	3人	8月7日
有孔虫の化石を取りだそう！	小・中学生	18人	8月7日
石器づくり体験 in 遠軽町白滝	小3以上	19人	8月8日
風鈴づくり	〃	15人	8月8日
缶ポックリで遊ぼう	小・中学生	8人	8月8日
ミニミュージアムを作ろう	小3以上	10人	8月9日, 10日
アイヌ語カルタで遊ぼう	どなたでも	6人	8月10日
シャボン玉で遊ぼう	〃	16人	8月11日
化石の色塗り工房	〃	8人	8月11日

アイヌ文様のコースター作り	〃	6人	8月12日
レプリカ色塗り工房	〃	13人	8月12日
アイヌ語なぞなぞクイズ	〃	7人	8月13日
まが玉をつくってみよう	小3以上	25人	8月13日
アイヌゴザ編み	どなたでも	4人	8月14日
夕闇の博物館	〃	17人	8月14日
凧で遊ぼう	〃	4人	8月15日
すぐにできる化石のレプリカづくり	〃	31人	8月15日
うなり木作り	〃	9人	8月16日
石うす体験	〃	6人	8月17日
ミニ土器作り	小3以上	18人	8月18日
ウグイス笛	どなたでも	14人	8月19日
<b>■秋の博物館まつり</b>		<b>152人</b>	<b>9/15~23</b>
創作ランプ作り	小3以上	15人	9月15日
やさしい手品体験	どなたでも	25人	9月16日
アイヌ文様コースター	〃	15人	9月17日
うなり木作り	〃	5人	9月22日
ボン菓子作り	〃	92人	9月23日
<b>■体育の日！博物館</b>		<b>34人</b>	<b>10/6~8</b>
竹とんぼを作ろう	どなたでも	5人	10月6日
アイヌ的ハーブティー体験	〃	16人	10月7日
アイヌ文様コースター作り	〃	13人	10月8日
<b>■博物館無料開放 アイヌ文化に親しむ日2012</b>		<b>384人</b>	<b>11/3</b>
アイヌのユーカラを聴く	どなたでも	42人	11月3日
アイヌの踊りを楽しもう	〃	16人	11月3日
アイヌの首飾りを作ろう	〃	10人	11月3日
イラクサから繊維を取ろう	〃	10人	11月3日
アイヌの料理にチャレンジ（ラタシケプ）	〃	11人	11月3日
アイヌ文様の万華鏡を作ろう	〃	70人	11月3日
アイヌ語カルタであそぼう	〃	28人	11月3日
アイヌ文様を切り抜いてみよう（コースタ・しおり）	〃	150人	11月3日
アイヌのお守り「エカエカ作り」	〃	47人	11月3日
アイヌ衣装試着体験	〃	多数	11月3日
アイヌのハーブティー試飲体験	〃	多数	11月3日
<b>■晩秋の博物館</b>		<b>71人</b>	<b>11/23~25</b>
宝石みがき	小3以上	27人	11月23日
落ち葉を使ったしおり作り	どなたでも	16人	11月24日
石うす体験きなこねじり	〃	28人	11月25日
<b>■クリスマス・冬休み博物館</b>		<b>277人</b>	<b>12/22~1/14</b>
もちつきぺったんこ	小学生以上	53人	12月22日
クリスマスキャンドル作り	小3以上	30人	12月23日
アイヌ文様コースター	どなたでも	11人	12月24日
お正月飾り作り	小3以上	15人	12月27日
お正月たこあげ体験	どなたでも	31人	1月6日
まが玉を作ってみよう	〃	27人	1月9日
ミニミュージアムを作ろう	小3以上	10人	1月10日, 11日

親子でアイヌのシト（団子）を作ってみよう	小学生以上と保護者	7人	1月11日
本格派！化石のレプリカづくり	小・中学生	23人	1月12日
むかしの室内遊び体験	どなたでも	45人	1月13日
有孔虫の化石を取り出そう！	小・中学生	25人	1月14日
<b>■冬もあついで！博物館</b>		<b>23人</b>	<b>2/9～11</b>
豆乳で作る豆腐作り	小学生以上	3人	2月9日
シャボン玉作り	どなたでも	3人	2月10日
お手軽！化石のレプリカ工房	〃	17人	2月11日
<b>■春の博物館</b>		<b>115人</b>	<b>3/20～31</b>
宝石みがき	小3以上	19人	3月20日
ゴザ編み体験	〃	5人	3月23日
石臼体験	小学生以上	11人	3月24日
初心者のためのアイヌ文様刺繍講座	中学生以上	39人	3月27日、29日
アイヌ文様万華鏡作り	〃	9人	3月30日
親子せんべい焼き体験	小3以上	32人	3月31日

<b>特別企画</b>	(2回開催) 合計 226人参加
-------------	------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
映像セミナー	どなたでも	201人	6月9日
ミュージアムコンサート	〃	25人	3月10日

<b>ゆきんぼ企画「あさひかわ・ナツカシフシギ」</b>	(58回開催) 合計 5,392人参加
------------------------------	---------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
ゆきんぼ企画「旭川ナツカシフシギ」	どなたでも	5,392人	毎週土日祝

<b>旭川市博物館教育活動</b>	(3回開催) 合計 148人参加
-------------------	------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
教員のための博物館の日	教 員	105人	8月5日
旭川市教育研究会社会科部会研修会	〃	35人	8月12日
旭川市教育研究会社会科部会との打合せ	〃	8人	1月29日

## 5 刊行物一覧

旭川市博物館では、調査研究・教育普及活動の一環として、「研究報告」、講座で使用する様々な資料の刊行にも力を入れております。是非、ご覧ください。

名 称	形 態	頁 数	部 数
旭川市博物科学館研究報告 第5号(市立旭川郷土博物館研究報告継続 通巻39号, 旭川市博物館研究報告継続 通巻19号, 旭川市科学館研究報告継続 通巻8号) ○長野県から産出する黒曜石ガラスの化学組成 向井 正幸 P. 1～16 ○旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について 磯 清志・出羽 寛・成田 一芳・舟橋 健・ 南 尚貴・山本 和生・篠原 隆明 P. 17～46 ○石狩川上流におけるサケ <i>Oncorhynchus keta</i> の2011年の自然産卵状況 一大規模放流個体群回帰1年目の報告— 有賀 誠・山田直佳・伊藤洋満・有賀 望・宮下和士 P. 47～57 ○オオバナノエンレイソウの奇形について 塩田 惇・舟橋 健・澤田 勇 P. 59～68	A 4 版・Web版	68頁	400
旭川市博物館所蔵品目録 XXII 民族資料/外来品関係：椀類3	A 4 版	32頁	400
キッズかわら版 第13号	A 3 版・Web版	4 頁	6,000
キッズかわら版 第14号	A 3 版・Web版	4 頁	6,000
大人のための自然観察会「江丹別の自然観察」	A 4 版	20頁	—
大人のための自然観察会「白金地区の自然観察」	A 6 版	20頁	—
博物館体験学習「化石採集会」	A 4 版	6 頁	—
博物館体験学習「本格派！化石のレプリカづくり」	A 4 版	5 頁	—
博物館体験学習「有孔虫の化石を取り出そう！」	A 4 版	7 頁	—
旭川市博物館第67回企画展関連講座「この街のはじまり」	A 3 版	9 頁	—

## 6 博物館実習

博物館実習とは、学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第1条に基づいて行われます。平成20年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しました。

### (1) 実習期間

平成24年8月16日(木)から8月22日(水)まで(7日間)

### (2) 実習生(学校別人数)

合計 20人

北海道教育大学旭川校	16人	札幌大学	1人
筑波大学	1人	北海道大学	1人
静岡大学	1人		

## 7 収蔵資料関係

平成24年度では、多くの市民の方々から919点の貴重な資料が新たに収蔵資料として登録されました。

平成24年度	民族資料	考古学資料	生活資料	自然科学資料	文書資料	計
4月	0	0	8	0	0	8
5月	0	0	476	0	0	476
6月	0	0	337	0	0	337
7月	0	0	1	0	0	1
8月	0	0	5	0	0	5
9月	0	0	9	0	0	9
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	61	0	0	61
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	2	0	0	2
2月	13	0	3	0	0	16
3月	0	0	4	0	0	4
合計	13	0	906	0	0	919
前年度末	2,596	18,912	49,020	7,659	6,368	84,555
累計	2,609	18,912	49,926	7,659	6,368	85,474

## 8 資料調査・撮影・掲載等

収蔵資料は、研究者の調査や論文掲載のために写真撮影をされたり、各報道機関で映像紹介されるなど有効に活用されております。(敬称略)

資料調査・撮影・掲載者	貸出資料	点数	掲載等
アイヌ文化伝承会	サラニップ	1点	書籍掲載のため
西脇 対名夫	女名沢出土石椀形土製品	1点	データ収集・論文掲載のため
旭川市教育委員会 社会教育部社会教育課	写真資料	3点	広報資料に掲載のため
旭川市教育委員会 社会教育部社会教育課	空襲発令札	2点	講座資料に使用のため
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館	神居古潭遺跡写真資料	3点	展示資料・図録掲載のため
旭川市市民生活部 市民協働室広聴広報課	写真資料	1点	広報誌に掲載のため
財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構	アットゥシ樹皮衣ほか	2点	図録に掲載のため
千葉 伸彦	「木挽き鋸」画像ほか	2点	研究報告書に掲載のため
大阪 拓	続縄文土器	2点	論文に掲載のため

## 9 貸出資料

博物館では、収蔵資料を貸出ししております。貸出しされた資料は、全国の博物館園での展示や学術上の研究等に使用されるほか、各小中学校の授業で使用されるなど、有効に活用されております。

(敬称略)

貸出先	貸出資料	点数	貸出期間
北鎮記念館	伝ステッセルのピアノほか	8点	平成24年4月1日～平成25年3月31日
旭川市消防本部	火災報知器ほか	2点	平成24年4月1日～平成25年3月31日
旭川市民生活館	イクパスイほか	20点	平成24年4月1日～平成25年3月31日
旭川市立北鎮小学校	スキーほか	3点	平成24年4月1日～平成25年3月31日
北海道旅客鉄道株式会社 旭川運転所	S L 部品ほか	40点	平成24年4月1日～平成25年3月31日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	小熊秀雄の机	1点	平成24年4月1日～平成25年3月31日
三浦綾子記念文学館	写真パネル	6点	平成24年4月1日～平成24年6月10日
旭川市立緑新小学校	縄文体験キット	1点	平成24年4月8日～平成24年4月16日
苫前町郷土資料館	パネル	20点	平成24年5月1日～平成24年5月30日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	土器	2点	平成24年5月24日～平成24年5月25日
NHK旭川放送局	地図パネルほか	5点	平成24年6月2日～平成24年6月10日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	土器ほか	8点	平成24年6月13日～平成24年6月14日
網走市立郷土博物館	骨製スプーン	1点	平成24年7月19日～平成24年9月28日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	土器片ほか	9点	平成24年8月6日～平成24年8月7日
北陸銀行旭川支店	写真パネル	14点	平成24年8月30日～平成24年9月28日
北海道環境生活部くらし 安全局文化・スポーツ課 縄文遺産推進室	神居古潭ストーンサークル 調査状況写真原板	2点	平成24年8月30日～平成24年9月28日
富良野市生涯学習センター	木椀ほか	4点	平成24年9月5日～平成24年10月17日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	土器片ほか	10点	平成24年9月5日～平成24年9月5日
NHK旭川放送局	偕行社模型ほか	10点	平成24年9月14日～平成24年11月1日
安田 佳正	写真ほか	4点	平成24年10月4日～平成24年10月6日
旭川市立陵雲小学校	のこぎりほか	9点	平成24年10月16日～平成24年10月31日
旭川市立東町小学校	写真パネルほか	10点	平成24年10月22日～平成24年11月22日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	土器片ほか	5点	平成24年11月9日～平成24年11月9日
NHK旭川放送局	鉄鍋ほか	2点	平成24年12月5日～平成24年12月7日
(株)旭川トーヨーホテル	真空管テレビほか	11点	平成24年12月30日～平成25年1月4日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	土器片ほか	8点	平成25年1月7日～平成25年1月10日

## 10 博物館ボランティア

昭和62年に北海道退職校長会旭川支部会員の希望者が集まった博物館ボランティアの活動が、現在も継続して行われています。活動内容は、2班にわかれ週1回来館して約2時間、担当学芸員の指示で収蔵資料の整理、収蔵カードの整備、データ入力その他、写真・文献等の資料整理を行っています。

## V サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は、旭川市科学館及び旭川市博物館の事業運営をサポートし、科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず、子供たちに科学のおもしろさや、科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

### 1 概 要

- ・団体名 サイエンスボランティア旭川
- ・代表者 鈴木 絃一（平成25年度）
- ・設立 平成16年5月15日
- ・登録会員数 140名（平成25年3月15日現在）  
〔内訳〕 ・案内説明員，事務局員140人（うち特別学芸員84人）

〈お問い合わせ先〉 〒078-8329 旭川市宮前通東  
旭川市科学館内 サイエンスボランティア旭川事務局  
TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310  
E-mail: hakubutsukagaku@city.asahikawa.hokkaido.jp  
URL: <http://asascience.blog.fc2.com/>

### 2 平成24年度従事者数

月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計	月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計
4	179.0人	55.0人	234.0人	10	172.0人	51.5人	223.5人
5	186.5人	64.0人	250.5人	11	171.0人	64.5人	235.5人
6	207.0人	68.5人	275.5人	12	170.0人	49.5人	219.5人
7	240.5人	58.0人	298.5人	1	150.5人	48.0人	198.5人
8	257.0人	52.5人	309.5人	2	165.5人	44.5人	210.0人
9	231.5人	58.5人	290.0人	3	187.5人	53.0人	240.5人
				計	2,318.0人	667.5人	2,985.5人

※半日従事の場合は0.5人として積算

### 3 活動の内容

#### (1) 概要

科学館の運営・事業等の支援	発券機操作案内，常設展示機器運営サポート・展示案内・説明，プラネタリウム観客誘導・整理等，レファレンスルーム管理，「サイエンスボランティア旭川通信」発行など
自主事業の企画・実施	「科学探検広場2013」の実施，サイエンスワークショップ・スポット木工・サイパル工房・コーナーサイエンス開催，教育大学旭川校からの学生ボランティア25人受け入れなど ※科学探検広場2013はⅢ「平成24年度事業活動報告」参照
ミュージアムショップの運営	科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。取扱商品約150種程度

(2) 自主事業詳細

ア サイエンスワークショップ

簡単な科学実験や工作などのワークショップを小学生を対象に主に日曜日、館内のさまざまなスペースを活用して開催しています。

内 容	参加者数	開催日
まさつで泳ぐ金魚を作ろう，日食メガネを作ろう，ロボット操縦体験，ペットボトル水族館を作ろうなど	5,323人	主に毎日曜日 (合計65回)

イ サイパル工房

さまざまな世代の人々にもものづくりの楽しさを伝えるため、電子工作を中心に不定期に開催しています。

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	春休み工作	どなたでも	13人	4月1日
2			5人	4月4日
3	こどもの日簡単工作		20人	5月3日
4			32人	9月4日
5	ラインロボットカー		4人	6月16日
6	ビー玉インテリアライト		10人	6月30日
7	なかよしスイッチ，他		15人	7月26日
8	スポット教室		20人	7月29日
9	ソーラーパネル風車他		27人	8月2日
10	ラインロボットカー他		16人	8月3日
11	くるくるコップ他		40人	8月5日
12	メロディーボックス他		3人	9月5日
13	LEDイルミネーション		11人	11月29日
14	電子オルゴールの製作		7人	1月8日
15	モーターカー		5人	1月14日
16	電子オルゴールの製作		10人	3月24日

ウ 夏・冬休み自由研究サポート工作教室

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	サイパルタワー	小学3年生以上	20人	14人	7月27日
2	LEDスカイタワー		20人	20人	7月30日
3	すな絵をつくろう		20人	16人	7月31日
4	立体・星の星座，一輪ざし		20人	32人	8月6日
5	テントウムシのサンバ		20人	16人	8月7日

エ スポット木工

事業名	内 容	参加者数	開催日
スポット木工	糸のこを使った動物などの簡単な切り抜き工作	935人	4月～3月 (22回実施)



科学探検広場2013①



科学探検広場2013②



サイパル工房



自由研究サポート工作教室



サイエンスワークショップ



スポット木工

## VI 旭川市科学館・旭川市博物館利用案内

### 1 観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示，科学館の常設展示室・プラネタリウムを御覧になるときは，次の観覧料が必要になります。

博物館	科学館		観覧料（円）			
	常設展示室 （1日）	プラネタリウム （1回）	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			300	240	200	160
	●		400	320	250	200
		●	300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
	●	●	500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が20名以上の場合です。

※次に該当する方は，観覧料が免除となります。（受付にお申し出ください。）

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も）
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は，利用開始された日から1年間，対象施設を何度も御覧いただけます。

種類	対象施設	料金（円／枚）	
		大人	高校生
博物館パスポート	博物館の常設展示	600	400
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館 パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,800	/

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。また，博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの2種類のみお買い求めいただけます。

なお，特別展につきましては，その都度教育委員会が定める額となります。

## 2 旭川市科学館

### (1)開館日数

平成24年度の開館日は321日、休館日は44日（うち、保守点検休館日は8日間）。

### (2)休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは、その翌日）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日）

上記を除く毎月末の平日（保守点検休館日、職員は勤務日となる）

### (3)臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、6月から9月までの月曜日及び月末の平日（7月9日及び9月28日を除く）並びに5月1日、28日、12月28日、1月2日及び3月29日。

### (4)開館時間

開館 午前9時30分

閉館 午後5時（ただし観覧のための入館は午後4時30分まで）

ただし、お盆時期を中心に5日間（平成24年度は8月11日～15日）は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長したほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

### (5)交通のご案内

#### バスをご利用の場合

J R旭川駅前「5番のりば」から旭川電気軌道バス82番線「南高行」又は84番線「ひじり野1の1行」乗車、「科学館前」で下車します。

#### J Rをご利用の場合

J R旭川駅から徒歩25分、又はJ R旭川四条駅から徒歩15分かかります。

#### 高速道路をご利用の場合

道央自動車道旭川鷹栖I.C.から25分、又は道央自動車道旭川北I.C.から車で約45分かかります。

#### 飛行機をご利用の場合

旭川空港より車で約40分かかります。

## (6) 周辺地図



## 3 旭川市博物館

### (1) 開館日数

平成24年度の開館日は343日、休館日は22日。

### (2) 休館日

毎月第2・第4月曜日（祝日に当たるときは、その翌日）  
年末年始（12月30日から翌年の1月4日まで）  
設備点検日等

### (3) 臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、6月から9月までの月曜日。

### (4) 開館時間

開館 午前9時

閉館 午後5時（ただし観覧のための入館は午後4時30分まで）

ただし、お盆時期を中心に5日間（平成24年度は8月11日～15日）は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長したほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

### (5) 交通のご案内

#### バスをご利用の場合

1条通7丁目「12番バスのりば」から旭川電気軌道バス「80・81番」乗車、忠別橋経由で「神楽4条7丁目」（大雪アリーナ前）下車。所要時間は約10分です。同じく「12番バスのりば」から旭川電気軌道バス「93番」乗車、クリスタル橋経由で「大雪クリスタルホール前」下車。所要時間は約5分です。

又は、1条通7丁目「11番バスのりば」から道北バス「14・43番」乗車、忠別橋経由で「神楽4条7丁目」（大雪アリーナ前）下車。所要時間は約10分です。同じく「11番バスのりば」から道北バス「443番」乗車、クリスタル橋経由で「大雪クリスタルホール前」下車。所要時間は約5分です。詳しくはホームページをご覧ください。

#### 乗用車をご利用の場合

JR旭川駅から1km、約5分かかります。隣接する旭川大雪アリーナ裏側に約400台収容可能な専用駐車場があります。大型バスも10台駐車することができます。

### 高速道路をご利用の場合

道央自動車道「旭川鷹栖I.C.」から6.3km，車で約25分かかります。

### J Rをご利用の場合

J R旭川駅南口(西側)から徒歩の場合，クリスタル橋経由で約820m，約10分かかります。タクシーの場合，約600円前後，所要時間は約5分です。

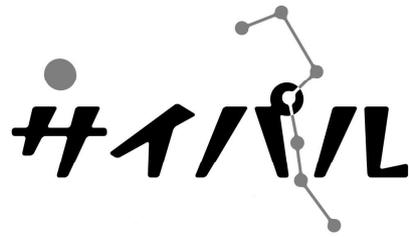
### 飛行機をご利用の場合

旭川空港から18.8km，車で約40分かかります。

### (6) 周辺地図

旭川市博物館は，複合施設である旭川市大雪クリスタルホール（旭川大雪アリーナ隣接）の中にあります。





### 旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とはSCIENCE(科学)とPAL(仲間、友達)を組み合わせた言葉です。また、  
いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。  
新しい科学館の建設地の北彩都(きたさいと)あさひかわの「彩」もイメージしてい  
ます。科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい、そんな願いが込め  
られています。



### 旭川市科学館・マスコットキャラクター 「コロツ・クル」

未来への進化をたどる、地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、  
宇宙的な生物アメーバを表現。

その中に、古くから欧米では「学問の神様」として扱われ、またアイヌの人たちには  
「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

---

平成25(2013)年

## 旭川市博物科学館報 Vol.6

平成26年1月発行

発行者 旭川市博物科学館  
旭川市博物館 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目(大雪クリスタルホール内)  
TEL 0166-69-2004 FAX 69-2001  
旭川市科学館 〒078-8329 旭川市宮前通東(北彩都あさひかわシビックコア地区)  
TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310  
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/hakubutsukagaku/>  
メールアドレス [hakubutsukagaku@city.asahikawa.hokkaido.jp](mailto:hakubutsukagaku@city.asahikawa.hokkaido.jp)

---